

経営比較分析表（平成28年度決算）

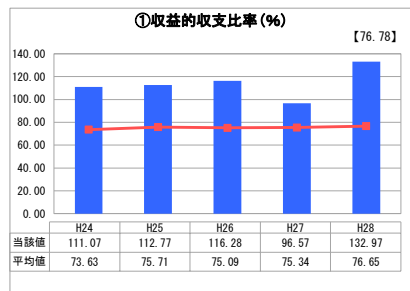
岐阜県 池田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	31.90	3,240	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,390	38.80	628.61
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,748	10.20	759.61

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



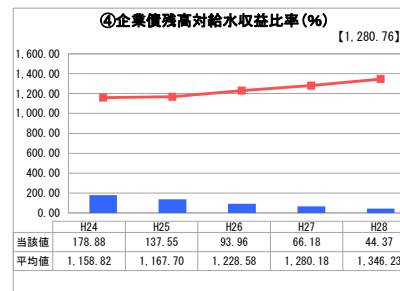
「単年度の収支」



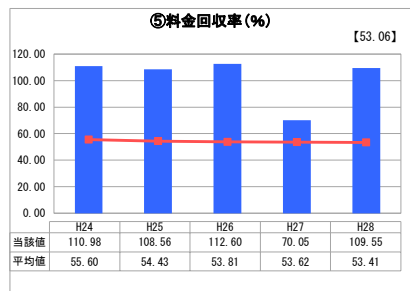
「累積欠損」



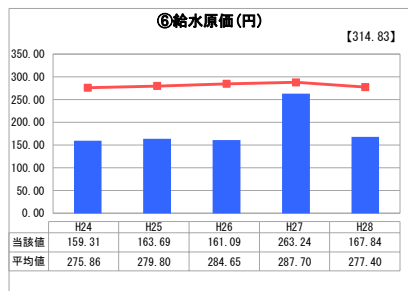
「支払能力」



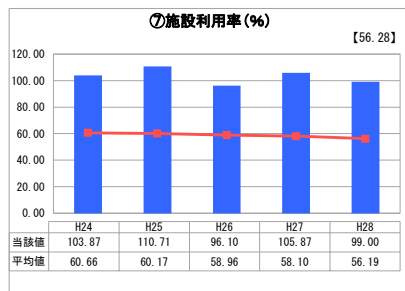
「債務残高」



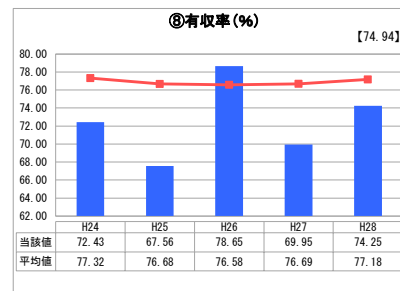
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

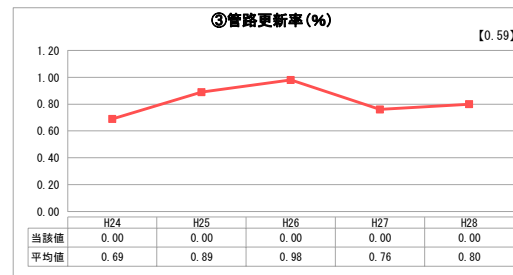
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は概ね良好であり、経営の健全性・効率性は保たれているといえる。平成27年度から平成28年度にかけての収益的収支比率と料金回収率の上昇は、平成29年度の上水道事業との統合に向けての施設整備がほぼ完了したためである。

2. 老朽化の状況について

保有する資産は、そのほとんどが創設当初のものであり、10～20年後には更新需要が集中することが予想される。上水道との統合後、中長期的な水道施設の更新と資金確保を実現させるため、アセットマネジメント手法による更新需要及び財政収支見通しの検討を行う。

全体総括

比較的健全経営を実現できているといえる。しかしながら、有収率が100%を下回っている。これは漏水が要因となっており、現状は施設の稼働状況が収益に反映されていない。そのため、安定的な水供給に向けて漏水対策及び耐震化が重要な課題となっている。平成29年度からの上水道事業の統合に伴い、経営戦略策定の内容を基にして計画的かつ合理的な経営を行い、持続可能な経営体制を目指す。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の実績を基に類似団体平均値を算出しています。